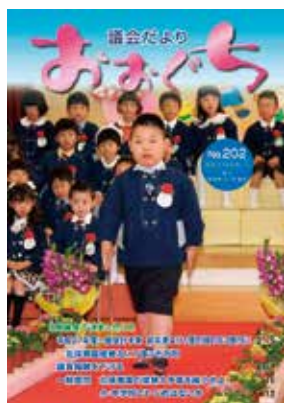


議会だより あまぐら



既に大人の仲間入りした子もいるのかな
 新型コロナの影響で
 表紙写真の撮影もままならず・・・
 過去の3月定例会号の
 表紙写真を集めてみました

令和4年度予算 道路整備等に約2億3千万円 2~4
ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議 5
一般質問 11~15
「带状疱疹ワクチン接種の助成を」
「後期高齢者医療保険 町独自で窓口負担の軽減を」
「登下校の安全見守りの担い手は」 ほか



大口町議会
 ホームページ

No.232

令和4年4月22日

発行：愛知県大口町議会

に約2億3千万円

企業誘致のための積極投資～



一般会計予算98億2千万円、
前年度比2億2千万円(2・3%)増加

歳入は、法人町民税や固定資産税の増収が見込まれ、町税は約4億2千万円(8・4%)増加し、法人事業税交付金をはじめとする国からの各種交付金も約9千万円(11・5%)増加しています。これらの増収が見込まれることから、財源が不足する際に使用する財政調整基金の繰り入れを約2億円減らしています。

歳出は、町内企業再投資促進事業補助金を計上した商工費が約4億8千万円増加するなどしています。3年度に小口線用地購入のあった土木費で約2億3千万円、北防災センター整備工事のあった消防費で約2億5千万円減少しました。

道路への流入を抑制するための幹線道路の整備等で約2億3千万円、役場南ひろば(4年11月完成予定)とオークマグラウンド(旧総合グラウンド)の間を流れる五条川に架ける木橋新設工事に約6千万円、新ごみ処理施設の建設費積立に4千万円、このほか町制60周年記念事業に関する予算などが計上されています。

3月定例会の概要

3月定例会を3月2日から3月24日までの23日間の会期で開催しました。

○町提出(31議案) 令和4年度一般会計予算など

【全会一致で可決】令和3年度一般会計補正予算(第11号)ほか26議案

【賛成多数で可決】令和4年度一般会計予算ほか3議案

※賛否の分かれた議案の詳細については、8ページをご覧ください。

○議員提出(2議案)

【全会一致で可決】ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議(5ページ)についてほか1議案

○一般質問 5人の議員が町政全般にわたり質問しました。(11～15ページ)

※吉田正議員は病気治療のため3月定例会を欠席しました。

令和4年度予算

道路整備等

～財政基盤安定に向けた

地方道路等整備事業

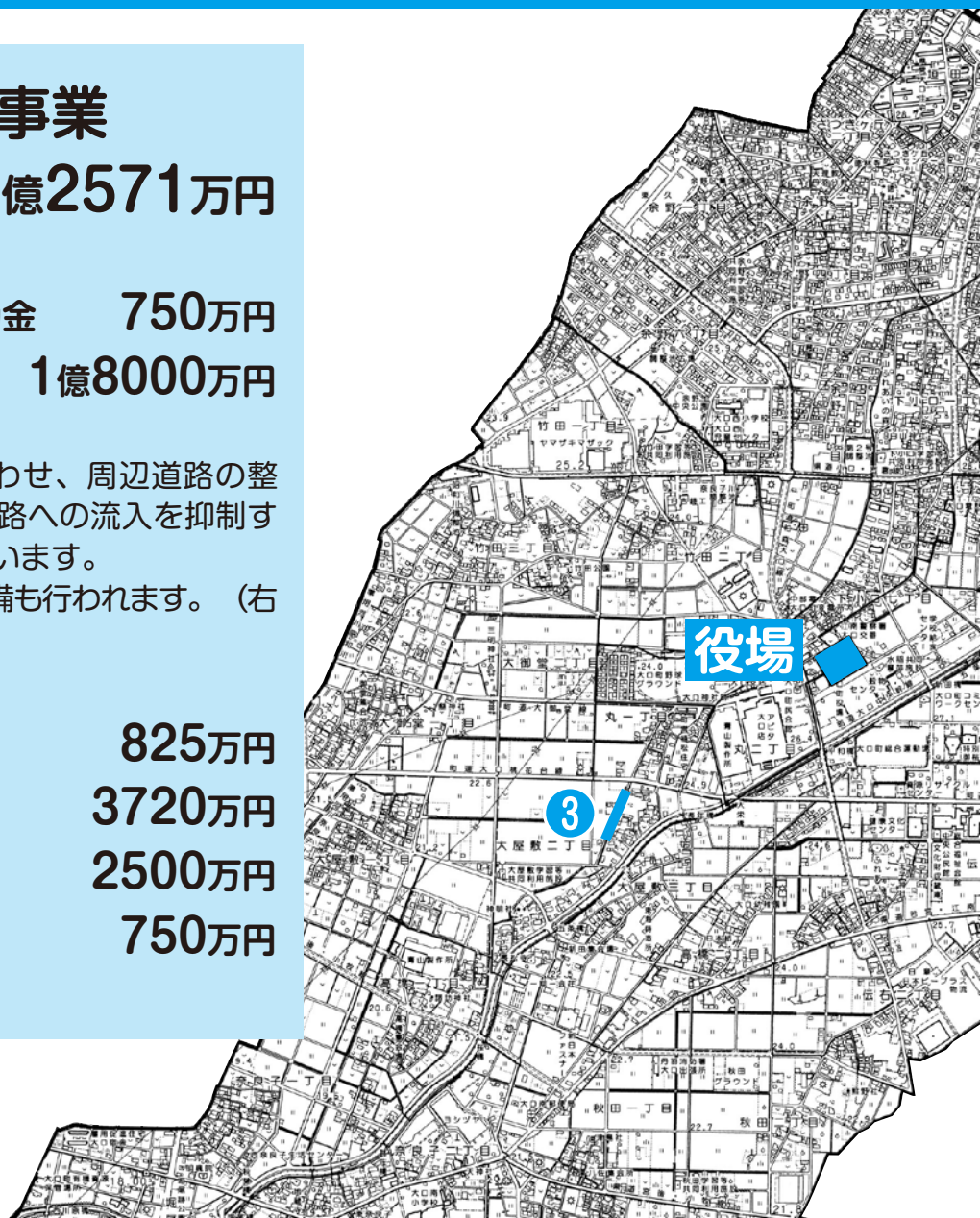
2億2571万円

財源のうち 国県補助金 750万円
地方債 1億8000万円

国道155号の4車線化に合わせ、周辺道路の整備を行います。また、生活道路への流入を抑制するため、幹線道路の整備を行います。

このほか、下記の4路線の整備も行われます。(右地図の番号のあたり)

- ① 中小口8号線 825万円
- ② 大口中央幹線 3720万円
- ③ 大屋敷62号線 2500万円
- ④ 下小口認定外道路 750万円
(関連記事7ページ)



木橋新設工事

6341万円

歩行者の利便性向上のため、役場南ひろば及びオークマグラウンド等の公共施設をつなぎ、行き来が容易にできるように新たに五条川に架ける人道橋を整備します。



青桜のあたりに設置される予定です

主な新規事業など

新

南・西保育園空調設備設置工事

318万円

南保育園・西保育園の空調設備が老朽化したため、新たに空調設備を設置します。

北児童センター駐車場整備工事

440万円

施設利用者のための駐車場を北側に整備します。(20~30台くらいの規模を予定) ベビーカーを使用する方や、小さなお子様連れの方にも利用しやすいよう、一台当たりのスペースを広めに確保した駐車場が整備される予定です。(関連記事は7ページ)

子ども条例策定

128万円

大口町で暮らすすべての子どもたちの健やかな成長を願い、子ども条例を策定します。

4年度は、先進事例の研究と現状分析、子ども及び保護者へのアンケート調査などが行われる予定です。



役場南ひろば整備工事

2540万円

4年度は外周園路の舗装、水飲み場、ラグビーゴール、バスケットゴール等の整備が行われ、11月に完成予定です。(写真は4年3月末の様子)



継続

大口町議会は、3月7日の本会議にて議員提出議案として提出された「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致で可決しました。決議文は次のとおりです。

ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議

国際社会は平和と秩序ある世界を常に願っているが、その願いも虚しく、ロシアは令和4年2月24日、ウクライナへ軍事侵攻を開始した。この行為は、ウクライナの主権及び領土の一体性を侵害するものであり、力による一方的な現状変更は断じて認められない。国際秩序の根幹を脅かすもので、断じて許されるべきものではなく、厳しく非難するものである。

よって、本町議会は、今回のロシアによるウクライナへの侵攻に対して強く抗議するとともに、ロシア軍の武力行使の即時停止及び完全撤退、並びに国際法の順守を強く求める。

最後に、一日も早くウクライナに平和が戻ることを心から願う。

以上、決議する。

令和4年3月7日

愛知県大口町議会

3月臨時会の概要

3月臨時会を3月31日に開催し、町提出の大口町税条例の一部改正ほか3議案を審議しました。

○大口町税条例の一部改正【全会一致で可決】

4年度に限り商業地等の課税標準額(固定資産税額を算出する基になる金額)の上昇を抑制。

○大口町都市計画税条例の一部改正【全会一致で可決】

大口町町税条例の一部改正と同様の内容。

○大口町国民健康保険税条例の一部改正【全会一致で可決】

保険税負担の公平性を確保するため、基礎課税額等の課税限度額を改正。

- ・基礎課税額 63万円⇒65万円
- ・後期高齢者支援金等課税額 19万円⇒20万円

○道路改良工事請負契約の変更【全会一致で可決】

町道小口線道路改良工事の契約金額及び工期を変更。

審議の結果

議会あれこれ

新公会計勉強会を開催

2月16日、講師に公認会計士の金丸久高氏をお迎えし、新しい公会計制度の勉強会を行いました。

新しい公会計制度は、従来から官公庁が用いる会計方式(現金主義・単式簿記等)に加え、民間企業等で用いられる会計方式(発生主義・複式簿記等)を導入するものです。

これにより財政状況の透明性を高め、住民に対する説明責任をより適切に果たすとともに、財政の効率化・適正化を図ることができると考えられています。

議会としてもこの制度を学んで知識を深め、町政運営に対して議会の役割を果たせるよう努めていきます。



分かりやすく丁寧な解説をしていただきました

質疑あれこれ

本会議での議案質疑、及び総務建設、文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の改正

地域懇談会開催地の制限を撤廃

(まちづくり基本条例の一部改正)

提案される様々なテーマについて、より充実した意見交換の場とするため、小学校区ごととした開催対象区域の制限を撤廃し、テーマや内容等に応じて枠組みを柔軟に変更できるように改正する。

問 地域懇談会は小学校区ごとに開催するとしていた制限を撤廃し、テーマや内容で柔軟に開催地を変更できるようにすることは、期待されることは。

答 小学校区の枠にとらわれるのではなく、あくまでテーマや課題に応じたより深みのある、実りのある懇談会にしたいと考えて、枠組みを外した。

消防団員報酬の見直し

(消防団条例の一部改正)

国から示された出勤報酬の標準額と均衡を取り、消防団員の処遇改善を行うための改正

問 出勤手当の区分が3つと従前の半分以下になり、団員の処遇改善に繋がるのかが懸念される。例えば、行方不明者の捜索に出勤した場合は、どのような扱いか。

答 行方不明者捜索は平時ではないという観点から、災害出勤として扱う。

問 出勤報酬を4時間以上と4時間未満で分けた基準の根拠は。

答 国からの通知では、1日あたりの出勤時間は7時間45分が基本とされている。この半分である4時間で金額の境目を設けた。

未就学児分の負担を軽減

(国民健康保険条例の一部改正)

保険税率等の改正や、未就学児に係る被保険者均等割額の軽減措置が創設されたことによるもの。

問 未就学児に係る被保険者均等割額の軽減措置の対象を拡大している市町村があるが、本町でも対象年齢を拡大する検討の余地はないか。

答 対象年齢を拡大できる市町村は、保険税収入もあり、繰越金も出るなど特別会計の中でやりくりできている。

本町はそこまでの財政状況に至っていないので難しいと考える。

補正予算

予算不用額等5億4千万円を減額

(一般会計 第11号)

問 自転車乗車用ヘルメット着用促進補助金の補助額を引き上げたり、対象年齢に制限を設けていない市町村がある。他市町村の状況を踏まえた本町の考え方は。

答 県が行う本制度の趣旨を鑑み、県の要綱に沿って進めている。県は3年ほどこの制度を行ううえで、その間に他市町村の状況も踏まえながらニーズ等を把握し、今後の展開を考えていきたい。



問 乳幼児等予防接種委託料の減額の理由は。



答 日本脳炎ワクチンの製造過程で一部不具合があり、製造が中止されたことで供給量が非常に少なくなつたため接種者が減少した。3年度に接種できなかった方は4年度に接種できる。

当初予算

一般会計

問 法人町民税は2億円ぐらい増収する見込み。今後、ロシアのウクライナ侵攻に伴う影響がかなりあると思うが、このままでよいのか。

答 昨年11月過ぎに各企業からの聞き取りを行つて予算を見積もつた。その後のコロナやウクライナ情勢の影響もあるので、今後の状況を見守っていききたい。

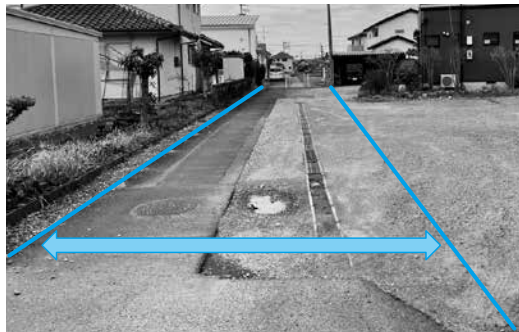
問 コミュニティバスは町民の足を確保するという観点で重要だが年々事業費が増えている。燃料費も高騰しており、利用者も負担するような協議も必要ではないか。

答 コロナ禍による利用者の減少、さらには燃料費等の高騰により町の負担も増えている。利用者負担の考え方は同様なことを考えており、民間の識者等を交えた地域公共交通会議で検討したい。

問 住宅用太陽光発電システム設置費補助金のうち電気自動車等充給設備分の見込みは1件分とのこと。見込みより多かつた場合、どのような対応するのか。

答 1件以上の申請があつた場合は、この補助金の予算の範囲内で交付したい。今後、電気自動車の普及状況等も見ながらこの予算額は検討したい。

問 北児童センターの駐車場等整備の工事予定と駐車場の規模は。



北児童センター北側道路の拡幅イメージ。敷地の一部をご寄附いただき、道路が整備されます
(関連記事は3ページ、4ページ)

答 北児童センター北側で予定されている町道整備工事が完了次第、整備を行う。駐車可能台数は20台程度の見込み。

問 高齢者実態調査で把握したニーズ等をもとに見直したものはあるか。

答 3年度から外出支援サービス事業で、タクシー券の他にコミュニティバス回数券を選択できるようにした。

問 新生児聴覚検査費用の申請方法及び助成額は。

答 5千円を上限に妊婦健診と同じく受診券を発行し、健診を受けていただく。

問 多胎妊娠の妊婦健診の追加助成に関する具体的な内容は。

答 現在、妊婦健診は14回の基本健診と詳細健診ができるように受診券を発行。多胎妊娠の方は体調の変化とかが多く、受診回数も増えるため5回分の基本健診の受診券を追加。



多胎妊娠とは

2人以上の赤ちゃんを同時に妊娠することを言います

問 3歳児健診で視力検査に使用するための屈折検査機器が導入されるが、機器を使用するの検査はいつ頃からか。

答 新年度に速やかに機器を購入し、できるだけ早い時期から健診の中で取り入れていきたい。

問 プレミアム商品券事業、4年度は町制60周年記念ということで何か考えているのか。

答 4年度も県の補助があるため、昨年度と同様にプレミアム率は20%で考えている。

定例会で賛否の分かれた議案

(○=賛成、×=反対)※議長は裁決に加わらないため空欄

| 議案等名称 | 吉田 | 江幡 | 佐名 | 鈴木 | 近藤 | 江口 | 船戸 | 岡 | 酒井 | 大竹 | 伊藤 | 丹羽孝 | 丹羽勉 | 齊木 | 倉知 |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|-----|-----|----|----|
| ① 国民健康保険税条例の一部改正 | | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ② 令和4年度一般会計予算 | | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③ 令和4年度国民健康保険特別会計予算 | | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ④ 令和4年度後期高齢者医療特別会計予算 | | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑤ 令和4年度介護保険特別会計予算 | | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

賛否が分かれた議案の討論要旨は次のとおりです

① 国保税条例の一部改正

賛成 大竹伸一

賛成 大竹伸一

平成30年度以降、国保財政調整基金及び法定外一般会計繰入金の活用で被保険者の負担を抑えながら段階的に改正を行っている。

また、今回は未就学児の被保険者均等割の軽減措置の創設に伴い、地方税法施行令の一部が改正されたため必要な改正を行うものである。

反対 江幡満世志

国保運営が大変なことは理解している。資産割廃止に向けて応能負担の割合が増えることとは良いと思う。

一定のルールを作り一般会計からの繰り入れを行って被保険者の負担軽減を。

② 4年度一般会計予算

賛成 江口昌史

賛成 江口昌史

健康やかな暮らしづくりに向けた新コロナ対策、若い世代の定住・子育て支援による人口減少や超高齢化社会への対策、本町の活力ある産業づくりに向けたインフラ投資などは、時間的な猶予がある今こそ取り組むべき。

また、第7次総合計画を達成するためにも必要な予算である。

反対 江幡満世志

過去最高額の予算総額も人口増やインフラ整備を考えれば妥当である。しかし、基金と地方債の借入れのバランスが上手く活用されていない。

また、前年度の予算だけではなく、決算額とも比し、更には枠にとらわれない大局的な視点に立った予算編成を。

③ 4年度国民健康保険特別会計予算

賛成 大竹伸一

賛成 大竹伸一

被保険者は30年度末に4284人であったが、令和4年度は3850人に減少。

また、3年6月の法改正により、未就学児に係る被保険者均等割額の軽減措置などへの対応を含め、財源不足の中で大変苦慮された予算となっている。

反対 江幡満世志

特定健診、傷病手当の拡充を

被保険者が減るのに徴収税額が増えることに矛盾を感じる。

特定健診事業、コロナ禍で予定通り進められなかったのではないか。4年度はぜひ事業の充実を。

傷病手当はコロナ感染の被用者のみが対象。フリーランスや事業者も対象にすべき。

④ 4年度後期高齢者医療特別会計予算

賛成 大竹伸一

賛成 大竹伸一

この制度は都道府県ごとに設置された広域連合に全市町村が加入し、共同で後期高齢者の医療事務を行うもの。

保険料率は2年ごとに見直されるが、保険料の特別徴収と普通徴収の割合は実績をもとに算出されており、全体的に配慮されたもので理解できる内容。

反対 江幡満世志

本会計は県広域連合の通達どおりに徴収等を行っている。県も国の方針どおりに計算して、県内自治体に通達しているの

で、まさに中央集権そのもの。

地方分権の時代には上からの押し付けの値上げは許されない。

⑤ 4年度介護保険特別会計予算

賛成 大竹伸一

賛成 大竹伸一

高齢化社会で介護認定者の増加は避けられず、それに伴う介護利用者も増加している。

居住費と食事にかかる費用は、原則全額自己負担になっている。

介護予防の事業もこの特別会計で行われており、予算の内容は適切である。

議員定数・報酬検討特別委員会報告

議員報酬の一部を増額(令和5年5月から)

議員定数は当面現状を維持

議員定数 報酬検討特別委員会

委員長 齊木 一三

令和2年5月の臨時会で特別委員会を設置後、計14回にわたり委員会を開催して検討してきました。その結果について次のとおり報告します。

議員定数

議員定数は議論できる人数であること、議会運営に支障をきたさない人数であることを前提に検討しました。

その結果、現状の15人が妥当であるが、今後、選挙が無投票となったたり、定数を下回るような事態が生じた際には、改めて検討するという結論を出しました。

議員報酬

若年層でも立候補できる報酬体系にすることを目標に議論を進めてきましたが、コロナ禍による意見交換会の中止により、住民との十分な話し合いができない中で大幅な増額は、住民の理解を得ることは難しいと判断されました。

そこで、現状の待遇改善として、役職無しの議員よりも職務、職責があるにも関わらず、報酬の割増しがない副委員長や、特別委員会の正副委員長長の報酬を見直すことにしました。

改正案は、役職無し議員の月額報酬29万2千円を基本に役職ごとの加算率を考慮したものとしました。

この特別委員会での出した結論を町長から行政経営審議会へ諮問をしていただき、審議会からは妥当であるとの答申と併せ、次の意見をいただきました。

・議員のなり手不足の解消には不十分なので今後も検討が必要である。

・議会は重要な役割を担っているが、その活動が住民に十分伝わっていない可能性が高いため、住民に理解してもらえような行動を起こすことが必要である。

今後は、審議会からいただいた意見を踏まえた議会活動をしてまいります。

議員報酬月額の変更内容

| 区分 | 改正前 (令和5年4月まで) | 改正後 (令和5年5月から) |
|-------------|-------------------|-------------------|
| 議長 | 389,000円 | 変更なし |
| 副議長 | 321,000円 | 変更なし |
| 常任委員会委員長 | 306,000円 | 変更なし |
| 常任委員会副委員長 | 292,000円 | 299,000円 |
| 議会運営委員会委員長 | 306,000円 | 変更なし |
| 議会運営委員会副委員長 | 292,000円 | 299,000円 |
| 特別委員会委員長 | 292,000円 | 306,000円 |
| 特別委員会副委員長 | 292,000円 | 299,000円 |
| 議員 | 292,000円 | 変更なし |

注) 異なる2つの委員会でも委員長と副委員長を務める場合は、上位の役職である委員長の区分での支給となります。

町政を問う

5議員が質問

ここが聞きたい!

大口町
ホームページ
「一般質問」



YouTube
チャンネル名
「大口町議会」



「一般質問」とは、町政全般にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

佐名かよ子

帯状疱疹ワクチン接種の助成を…………… P11
医療的ケア児支援 学校等の支援体制はどのようか

江幡満世志

外出支援タクシー助成 迎車料金無料化の交渉を…………… P12
後期高齢者医療保険 町独自で窓口負担の軽減を

鈴木和江

地域福祉向上事業 どのような活用を想定しているか…………… P13
早期のフレイル予防を

丹羽孝

市街化調整区域の土地利用 住宅用地に転用できる公園整備を …… P14
登下校の安全見守りの担い手は

江口昌史

ふれあい農園 水やり問題の対策の検討は…………… P15
異業種の農業参入に対する見解は

追跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

令和3年3月定例会

江口昌史

窓口支払いのキャッシュレス化を

問 各種証明書等の手数料の支払いに電子マネー等によるキャッシュレス決済を導入し、住民サービスを向上できないか。

答 先進自治体の状況等を参考にしながら調査・研究し、導入の検討をしていきたい。

令和3年4月よりコンビニ納付ができる納付書は、(PayPayなど)スマホ決済が可能となった。窓口での証明書等の手数料支払いは、検討した結果、しばらく導入を見送ることとした。

質問者の満足度



まあまあ

引き続きポストコロナを見据えた感染症対策の徹底をお願いしたい。

丹羽孝

新一年生の安全な通学路対策を

問 上小口の通学路沿いの道路は車の走行も多く、人数が増えた低学年だけの下校が心配。安全な登下校対策は。

答 4月始業式の下校時に通学班担当者引率で全校集団下校を実施。また、新学期が始まって危険箇所の確認を兼ねた通学路点検、登下校交通安全指導を行う。

今年度も入学説明会等で保護者に集合場所や通学路をお知らせし、入学前に家族で確認してもらうよう案内した。4月当初の下校時には、教員が保護者への引き渡し場所まで引率しながら危険箇所を指導する。

質問者の満足度



にっこり

しっかり対応されており、児童の交通事故もなかった。今後も登下校時の交通安全指導の継続をお願いしたい。

こうなった



带状疱疹ワクチン接種の助成を

部長 国の動向を注視していきたい



令和4年3月定例会
一般質問(佐名議員)



問 最近、带状疱疹を発症し、大変な思いをしたとの話をよく聞きましたとの話をよく聞きました。啓発により早期発見、早期治療につながる。併せてワクチンで予防できることも周知する必要があると思うが。

健康福祉部長 早めに気づくことが重要と言われているので、広報や町ウェブサイトで周知し、早期発見、早期治療につなげていきたい。

問 情報の提供について二次元コードを活用する考えは。

健康福祉部長 情報の収集はいろいろな方法があるが、たくさんの方に行きわたると考えるので今後の参考にする。

問 国の審議会では带状疱疹ワクチンの定期接種化を検討中で、助成する自治体が増加傾向にある。本町もワクチン接種費用を助成する考えはないか。

健康福祉部長 国で定期接種化を検討するワクチンの一つに含まれているが、期待される効果や導入年齢については引き続き検討が必要とされているので、国の動向を注視していきたい。

医療的ケア児支援

学校等の支援体制の内容は 部長 看護師配置等により環境を整備

問 昨年、医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケア児が居住地に関係なく、等しく適切な支援を受けられることが国や自治体の責務とされた。

健康福祉部長 医療的ケア児支援法に「基本理念に則り、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に医療的ケア児及びその家族に対する支援に係る施策を実施する責務を有する」とあり、この責務を確実に果たすことが重要であると考えている。

問 医療的ケア児に対し、学校等の設置者には看護師の配置や環境整備など必要な措置が求められている。今後の支援体制をどのように考えているか。

健康福祉部長 現在は医療的ケア児が在籍する学校や保育園に看護師を配置している。小中学校の進学では保護者の相談にきめ細かく応じ、保護者の意思を尊重しつつ、本人及び保護者と教育委員会で進路を決めている。

問 小児慢性特定疾病児童等への日常生活用具給付事業について、災害対策用の支援拡充を。

健康福祉部長 先進市町でも災害時にどのようなものが必要になるか早急に検討して実施していきたい。



外出支援タクシー助成

迎車料金無料化の交渉を

部長 事業者と現状を話しあってみてみたい



令和4年3月定例会
一般質問(江幡議員)

問 外出支援でタクシーの初乗り料金の助成をしているが、迎車の料金は実費となっている。利用者の負担はどれくらいか。

問 タクシー会社などに町の目的を説明して無料になるように交渉はできないか。

健康福祉部長 タクシー会社に聞き取りをしたところ、自宅に呼ぶ場合など約7割の利用に迎車料金がかかっているようなので、一度事業者と現状を話しあってみてみたい。

健康福祉部長 最も利用者が多いタクシー会社が1200円、次いで多い会社が2000円となっており、会社によって異なっている。



後期高齢者医療保険

町独自で窓口負担の軽減を

部長 国の制度であるため考えていない

問 75歳以上で一定の所得以上の人は4年10月から窓口負担が2割になる。年間の負担はいくらぐらい増えるのか。

健康福祉部長 窓口負担が2割になる

被保険者の方を対象に、4年10月から3年間、1か月の外来受診の負担増を最大3千円までに抑える措置が設けられる。

被保険者の方が診療を受ける頻度や内容、高額療養費、配慮措置等の諸条件により異なるが、この措置の効果も含め1人あたり約2万6千円の増加と国は試算している。

問 町独自に軽減策を実施できないか。

健康福祉部長 国の制度であるため、考えていない。

配慮措置による1人あたりの平均窓口負担(年間)の変化

| | 現行(1割負担) | 2割負担 |
|----|----------|--------------------|
| 外来 | 4.7万円 | 7.7万円 (+3.0万円) |
| 入院 | 3.6万円 | 4.0万円 (+0.4万円) |
| 計 | 8.3万円 | 11.7万円 (+3.4万円) |



| | 現行(1割負担) | 2割負担 |
|----|----------|--------------------|
| 外来 | 4.7万円 | 6.9万円 (+2.2万円) |
| 入院 | 3.6万円 | 4.0万円 (+0.4万円) |
| 計 | 8.3万円 | 10.9万円 (+2.6万円) |



地域福祉向上事業

どのような活用を想定しているか

部長 課題解決につながるものを想定



令和4年3月定例会
一般質問(鈴木議員)



問 令和4年度より各地域の諸団体の代表者で理事会等の「協議の場」を設置することだが、具体的なイメージは。

地域協働部長 区長と地域自治組織の

代表を中心に、行政区、地域自治組織それぞれの代表を複数出してもらい、コアとなるメンバーの会議体をイメージしている。

問 新たな項目として地域交付金の中に創設された「地域福祉向上事業」について、今後、この事業をどのような形で活用されることを考えているか。

地域協働部長 この事業の目的は、地域内で住民の生活向上を図るために取り組むもので、「協議の場」で地域の課題を洗い出し、その解決に向けて取り組む事業をイメージ。

これまで取り組んでいた訓練や教室に加え、地域課題の解決につながる予防や見守りといった活動、事務的な支援を含めた管理業務など今後課題になると思われる取り組みを対象に考えている。

早期のフレイル予防を

部長 健診や予防教室を実施

問 健康寿命延伸のために行っているサークル、運動教室などに週一回専門のトレーニングコーチ、インストラクターなどを派遣できないか。

健康福祉部長 インストラクターの派遣では、地域からの要望により健康体操やヨガなどの講師を紹介している。また、4年度からは地域自治組織単位での地域福祉向上事業として様々な活動を展開する中で、トレーニングコーチやインストラクター派遣の事業を企画することもできる。

問 今後は、高齢者の仲間入りをする前の段階からのフレイル予防が大切では。

健康福祉部長 特に若い世代を対象とした取り組みとしては、特定健診やわかば健診、がん検診を受けてもらい、早い段階からの「運動」「栄養」「休養」「禁煙」「節酒」などの正しい生活習慣の普及・啓発や行動の変化を促す保健指導、糖尿病や高血圧、高脂血症などの生活習慣病予防教室等を行っている。

問 本町の健康推進に対する今後の取り組みは。

健康福祉部長 今後、より一層求められる「地域包括ケアシステム」の実現に向け、健康生きがい課を中心に、医療保険を担当する戸籍保険課や地域づくりを支える地域協働課、さらには地域包括支援センター等の関係団体と連携し、住民の皆さんが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられる「まちづくり」を進めていく。



フレイルとは

加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態になる危険性が高くなった状態です



市街化調整区域の土地利用

住宅用地に転用できる公園整備を

部長 法の趣旨を逸脱すると考える



令和4年3月定例会
一般質問(丹羽孝議員)

問 市街化区域、市街化調整区域の面積及び固定資産税の推移は。

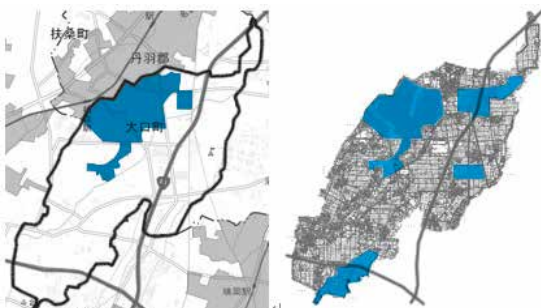
総務部長 市街化区域の面積は3・12

km²、市街化調整区域の面積は10・49km²。

土地の固定資産税は平成28年度に約9億9千万円だったが、年々増加して令和2年度は約10億5千万円となった。

問 人口集中地区を中心として転用も可能な近隣公園や防災公園を長期的な計画で整備することが必要と考えるが、町の考えは。

総務部長 市街化調整区域は市街化になるのを調整する区域となるのを調整する区域として法律で定められている。集落と農地をバランス良く保つために開発を制限する地域であり、住宅用地を整備していくことは法の趣旨を逸脱すると考える。



【左】人口集中地区（国土地理院ウェブサイトより）。水色の部分に人口が集中

【右】大口町の都市計画図。水色の部分が市街化区域

登下校の安全見守りの担い手は

部長 地域の方や周りの大人と考える

問 一昨年の通学路点検で要改善箇所はあったか。また、その場合の対応はどうしたか。

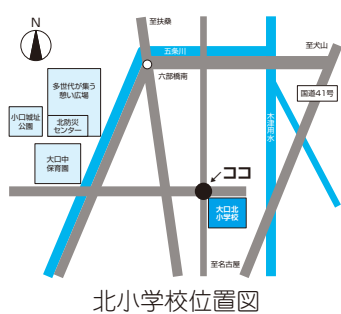
生涯教育部長 町内で41件あり、関係機関と対策を検討し、可能なものから速やかに実施することとした。

問 北小学校手前の交差点（左図）は児童と通過車両との接触の危険性が高いが対策は。

生涯教育部長 交差点に見守りの人を配置している。昨年秋に町、学校、警察、地域の関係者で意見交換をしたが、結論は出していない。

問 登下校時の安全見守りは学校以外が担うという文科省の方針に対し、誰がそれを担うのが本町の考えは。

生涯教育部長 強制力や責任は求めないという前提で、地域の方とか周りの大人が善意で見守っていただければと考えている。





ふれあい農園

水やり問題の対策の検討は

部長 小口径井戸設置の可能性を検討

問 本町の耕作放棄地の現状は。

まちづくり部長 平成28年度末に約0・4ha、農地全体の約0・08%が令和2年度末に約2・3ha、農地全体の約0・5%に増加している。

問 耕作放棄地の発生を未然に防ぐために本町が実施している事業は。

まちづくり部長 以前から行っている大規模農家への仲介と併せ、3年8月に大口町コミュニティ及び一般社団法人の団体と協定を結び、農地適正管理業務の斡旋を始めた。

問 ふれあい農園の課題の一つに水やりの問題があるとのことだが、課題の解決に向けて何か検討しているか。

まちづくり部長 農地所有者の了解が必要になるが、小口径井戸の設置の可能性を検討していきたい。



現在、水は自宅等から運ばれています

異業種の農業参入に対する見解は

部長 新たな展開を期待し積極的に支援

問 本町における農地の集積状況と新規就農や取り組み作物の状況は。

まちづくり部長 現在、約1体の約44%の農地が稲作の大規模農家に集積され、水稲のほかには六条大麦や大豆なども生産されている。

問 異業種の事業者が農業に進出することで新たな展開が期待できると考えるが、本町の見解は。

まちづくり部長 新規就農者だけでなく町内農地を守ることは難しい。異業種の町内企業であれば、スマート農業への設備投資や技術の習得といった点では農業のノウハウがなくても可能性はあると考えている。あらゆる業種の企業が参入することで新たな農業の展開ができるものと考え、積極的に支援していきたい。

問 本町が新たに出資する新農業法人の具体的な活動内容と今後のスケジュールは。

まちづくり部長 主に次の3事業を軸に考えており、事業計画を具体化しながら令和4年度中には設立したい。

- ① 農地保全事業 後継者不在により担い手がいなくなった農地の管理。
- ② 農地バンク事業 農地を手放したい人から農地を取得するなどし、農業を始めたい人への斡旋など。
- ③ 生産研究事業 町内農産物を使った特産品のブランド化と販売。



令和4年3月定例会一般質問(江口議員)

まちかどインタビュー

～大口町に期待することは？～

まちかどインタビューでは、毎号2人の住民の方から「大口町に期待すること」について一言を書いていただき、その思い（または理由）を伺います。その内容については、住民の声として今後の議会活動の参考にいたします。



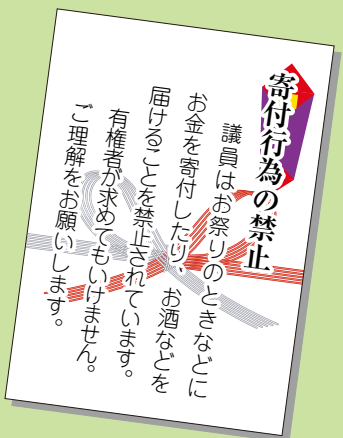
平日に働く勤労者に負担なく利用できるサービスのあり方を考えてほしい。例えば、土日の行政窓口の開設やWEBでの各種申請の充実など。

(Yさん 余野地区)



小さなお子さんから学生まで幅広い年代の子供たちが楽しく遊べ、学べる安心安全な施設があるといいと思います。

(Oさん さつきヶ丘地区)



会議録が閲覧できます
<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>

6月定例会予定

- 6月 2日(木) 提案説明
- 6月 6日(月) 一般質問
- 6月 7日(火) 一般質問
- 6月 9日(木) 質疑・委員会付託
- 6月13日(月) 総務建設常任委員会
- 6月15日(水) 文教福祉常任委員会
- 6月21日(火) 討論・採決

※日程は、変更になる場合があります。

| | |
|-----|-------|
| 議長 | 丹羽 勉 |
| 副議長 | 岡 孝 |
| 委員 | 船戸 孝夫 |
| 委員 | 江幡 満世 |
| 委員 | 佐名 昌志 |
| 委員 | 大江 伸一 |
| 委員 | 丹羽 孝 |

6月定例会の傍聴について ※委員会を除く

新型コロナウイルス感染予防のため傍聴をご遠慮いただく可能性があります。その際は、Youtubeの大口町議会公式チャンネルにて生中継を行います（※町ホームページ⇒町議会⇒お知らせ）。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。